

<司令官ケネス・メイナー大佐の2020年3月29日のビデオメッセージ（要約）>

世界にはいろいろな言葉がありますね。その中には、音声で発しない言葉もあります。私には8人の孫たちがいますが、その一人はダウン症候群を持って生まれました。彼は母と姉から英語の手話を教えてもらっているのです。自分の気持ち表現するのに、いつも手話を使うのです。英語の手話では、こぶしを1回上下に動かすと「はい」という意味。2本の指を上下に動かすと「いいえ」という意味になります。彼がいつもする手話は、手のひらを唇にあててから離す「ありがとう」という手話です。彼は、ありがとうの心に溢れています。私は、涙もまた、無言の言葉ではないかと思っています。新しい赤ちゃんが生まれたとき、家族には喜びの涙がありますね。また、離れていた家族が家に帰って来た時、喜びの涙があるでしょう。旧約聖書のミカ書を見ますと、大きな苦難の中にあつたイスラエルの民が流す涙を、神は全部ご覧になっていたことがわかります。涙を流さずにはいられない状況の中で、預言者ミカは、神を信じ、神を待ち望みました。その希望と約束のメッセージは、今日の私たちにも与えられているものです。今、新型コロナウイルスの感染が拡大する中で、明日がどうなるのか、だれにもわからない状況です。多くの人々が社会的に隔離され、涙を流しています。しかし、神様は、あなたが流す涙を見ておられます。そして、あなたの涙がどういう思いを、気持ちを表すものなのかを、神は知っておられます。預言者ミカは、希望をもってわが救いの神を待つ、と言いました。神は必ず自分の祈りを聞いてくださる、と彼は信じたのです。私はみなさまに、ミカ書7章7節を暗誦してくださるようお勧めします。ぜひ、この聖句を声に出して読み、あなたに与えられた約束として受け取ってください。イエス様はいつも、あなたを見ておられ、あなたを知っておられ、あなたを愛しておられます。